

## 第9回池田町義務教育のあり方検討委員会 会議録（概要）

日 時	令和8年1月26日（月） 午後6時～午後7時30分
場 所	池田町役場2階 大会議室
出席委員	委員長 池田園小運営協議会代表 梅牧 力 副委員長 高瀬中運営協議会代表 宮本 和紀 会染園小運営協議会代表 櫻井 康人 池田小学校PTA代表 皆川 瑞穂 会染小学校PTA代表 栗林 絵美 高瀬中学校PTA代表 藤井 周二 自治会協議会会長 常盤井 智美 自治会協議会副会長 中山 廣忠 池田小学校長 工藤 美恵 会染小学校長 池内 博 高瀬中学校長 原 毅 識見を有する者 下川 威 識見を有する者 村瀬 公胤 識見を有する者 丸山 史子 公募による者 丸山 尚子、佐藤 豊 池田町社会福祉協議会会長 中嶋 一光
欠席委員	池田保育園保護者代表 貝梅 直輝 公募による者 平林 利香子
事務局	教育長 山崎 晃、学校保育課長 井口 博貴 学校保育課学校保育係長 高木 さおり 学校保育課学校保育係 丸山 智史
書記	学校保育課学校保育係長
傍 聴	7人

### 1 開会

### 2 委員長あいさつ

### 3 教育長あいさつ

### 4 協議

答申案について

梅牧委員長より答申書説明

（丸山尚子委員）

子どもたちの個性や特性、能力、多様性が尊重される学び環境のところも考えてのあり方検討委員会という前置きがあるにも関わらず、答申が人数のことしか書かれていなくて非常に残念に感じた。これからもしかすると、国籍も越えて色々な状況において子どもたちが協力しながら、社会課題に向き合わざるを得ない時代が来ると思うので、工藤委員も言っていた「読み書き算数といった答えのあるものではなく、様々な人たちと問いを見つけていく力」

が子どもたちに必要だと思っているので、そのことも含め人数のことを入れてほしい。

(梅牧委員長)

そのことについては答申書2の(2)で入れた。

(丸山尚子委員)

全部確認したが、(2)が先程私が言った内容に当たるのが感じ取ることが出来なかったのと、(2)の「さらに多様な人間関係を培うために縦割り活動や異学年交流を進める」というところが、多様な人間関係を何のために培うのかがもう少し見えてくると良いなと感じた。

(梅牧委員長)

答申に入れる文言として具体的に示してもらえると非常にありがたい。

(丸山尚子委員)

学校の教育環境というところで、「学校においては、安全安心な学校環境を担保しながら」という文面だが、安全安心というのを具体的に示して欲しいと思っている。不登校の子どもや学校に来てはいるけど不登校までにはなっていない子どもも沢山いると思うので、そのことも含めて「学校においては、子どもたちが心身ともに安全安心を心から感じられる学校環境を担保」というように、安心安全は当然だが居心地が良くて子どもたちがのびのびと萎縮せずに勉強できる学校環境にしてもらえるよう盛り込んでほしい。それから、「子どもたちの学習活動が充実するように」と書かれているが、今の文部科学省も個別に最適な学習とか言っているが、「子どもたちの個々の学習活動が充実するように」という文言に変えてもらえる嬉しい。

後、「時代の要請に対応し ICT を活用した学習が進められるよう計画的に整備を進める」のところで、確かに池田町は ICT が進んでいて良いと思うが、個々の学習活動が充実するのは、ICT を活用して充実するだけなのかと引っかかっている。ICT に限定してしまうと場当たりの聞こえを感じた。

(梅牧委員長)

教育環境なので、建物も整備することも含めて教育内容に関わってくるので、どのように教育をするかというのを全部網羅することは難しい。子どもたちに安心安全な環境を作るといことで、ここは教育環境とまとめている。

(中山委員)

答申について教育長や教育委員に補足してもらえば良いと思った。

(皆川委員)

答申書2の(3)の環境について、人的環境という意味でマイノリティへの押しが弱いと感じたので、「教職員が子どもたちとしっかり向き合う」のところに、「個々に応じた」を入れると良いのかなと思った。

(梅牧委員長)

宮本副委員長が文章を考えているが、すぐには出すのは難しい。子どもたちが心身ともにの部分を入れて、それを網羅するという形で考えている。

(丸山尚子委員)

会議はこれで最後になるのか。

(梅牧委員長)

会議は今日で最後になる。最後の委員会は、基本的には答申を渡す形になるので、正副委員長だけで教育委員会に渡す予定。

この答申案について、全委員から意見を聞きたい。

(中嶋委員)

全部で9回行ってきたが、検討してきた内容については個人的には良くまとまっていると感じた。完璧な答申書というのは出来ないのと、答申書(案)の2の(1)に「さらなる偏りや不測の事態が生じた場合、教育委員会の判断により検討組織を立ち上げる」と文言もあるので、もし何か問題が出てきたら、変更を加えていくことが出来ると私は解釈したので、この答申書で良いと感じた。

(丸山尚子委員)

この会議の目的は、今までやってきた会議をまとめて次に有益に引き継ぐことが目的なので、今日の時間内で答申書をまとめることが目的ではないと思っているので、今回この時間内でまとめることを最優先して議論がおろそかになるのは本意ではないと思った。

(佐藤委員)

答申書を読んだが、数値で表していることや中期的な視点があることも含めて、非常に上手くまとめられていると感じた。

(丸山史子委員)

佐藤委員が言っていたようにコンパクトにまとめていると思うが、答申書(案)2の(3)の学校の教育環境のところは、どのように理解しているのか少し迷うところもあるが、学校のあり方について内容を絞ってまとめられていると感じた。

(下川委員)

この会議を通して、子どもがどんな力をつけていくのか、支援は全ての子どもに必要だと感じた。また、保護者の願いもとても感じていて、反映されていくためには保護者のPTAの皆さんと学校が連携することが大事なことだと改めて思った。

(村瀬委員)

答申書はこの内容で良いと感じている。その上で2の(3)に「教職員が子どもたちに」のところに、「個々の」が入るとより良くなると思うので、副委員長のほうで良い文案が出来れば賛同したい。

(原委員)

この答申書を読んで改めて保護者の方や地域の方が感じていることを確認することが出来たので良かった。保小中の連携を更に強めていながら、今行っていることを少しでも前進出来るような形で、進めていきたいと改めて感じた。

(池内委員)

池田町は「子どもがまんなか」ということで各校でも学校教育を進めている。学校現場にいる者とする、子どもたちのために日々頑張っている、この答申書に賛成して進めてもらえるようお願いしたい。

(工藤委員)

今まで話し合ってきたことが端的にまとめられている答申書になっていてとても良かった。私はこの答申書に賛成の立場なので、この内容でお願いしたい。

(中山委員)

文面にも書いてあるが、「財政面については考慮しない」と書いているが、考慮するような考え方で進めればより良くなると思うのでお願いしたい。

(常盤井委員)

前回出された答申案からだいぶ補足して完成したのかなと思った。違和感なく読めるが、個々の子どもにフォーカスするような文言が入ると良いのかなと感じた。

(藤井委員)

私もこの答申書に賛成している。教育委員会で方針を出来るだけ早く決めた方が良いと思

うのでお願いしたい。

(栗林委員)

私はこの答申書で良いと思うのでお願いしたい。

(皆川委員)

保護者の中には、教育大綱や答申書にまとめた内容を概念的な理解が追いついていない方もいると思っていて、そのことに並行して答申の方向性を支える雰囲気生まれえないのかなと心配している。せつかくここまで高い意識を持った答申書が生まれたので、保護者へのフォローも視野に入れながら進行するようお願いしたい。

(櫻井委員)

研修会に参加する中で、教職員の働き方改革の中にAIを導入し、先生方と協力して子どもたちのためにどのように教育するかが重要な問題だと感じた。答申書の内容については賛成している。

(梅牧委員長)

基本的な方向については全員認めていると思うが、文言についてももう少しこのことを入れて欲しい等の意見があれば出してほしい。

(丸山尚子委員)

この答申書を読んでいる時に、私が全くこの会議を知らない人間だとしたら、不親切な表現が多いなと思っていて、ただ読んでいても意味が伝わりづらいので、今までの議論も盛り込めたら良いなと思った。

(梅牧委員長)

今までの議論を全て正確に伝えるのは、資料を全て読んでもらわないと、まとめた文章としては難しいと思う。

(丸山尚子委員)

例えば、4ページの②の地域・保護者と書いているが、これは現在の学校の良さと課題と解決策について考えているけど、「おちつきのある地域」と書かれていて、これ何だろうと思いついて過去に遡っていくと第2回に行ったグループ討議から抜粋したものだと分かったが、例も説明もないので分かりにくいと感じた。

(梅牧委員長)

3ページの真ん中上に、「委員会で検討協議を行った内容は以下のとおりである。」つまり、出た意見について出来るだけ網羅して欲しいということなので、その意見をどのように受け止めて次に検討していくかについては難しい。ただ意見として残すのではなく網羅的に全部形式的にしたいということでしょうか。

(丸山尚子委員)

この文章に形式的に残すのが必要だから残したという回答でしょうか。

(梅牧委員長)

意見として残したということである。全て網羅することは出来ないし意見として残すのは大事なので、資料としてアンケート結果等の全部答申書には添付してないが、HPに今までの資料は添付して残しているの、こちらのまとめる力不足もあるが、それ以上更に説明して答申書に記すのは無理だということでした承してほしい。

(丸山尚子委員)

答申書5ページの「2)現在の学校の課題と解決策」の④その他のところで、「子どもが15年プランを理解していない」記述をいくつかのアンケートから確認したので、答申書に付け足してほしい。

(梅牧委員長)

入れたいと思う。答申の前にはもう1回全委員に答申書を配布するが、大きく内容は変わらないと思うが他に意見はないか。

(村瀬委員)

8ページの(3)まとめのところで、下から3行目の「もうしばらく現状を見た上で」があまりにも消極的な文言だと思った。こんなに話し合っただけで、結局先送りしたのかという言われ方をされたら、私達としても残念に思うので、「令和8年度に開園する民間の保育園による児童数の影響も含めて」の後に、「町として教育環境の向上や移住の促進に努めつつ」を入れることで、減ることを前提とした議論ではなかったということを出していったら良いのかなと感じた。

(梅牧委員長)

移住については町の政策で実施しているので、答申書に載せる必要はないと思っている。教育環境の向上は入れたいと思う。

(皆川委員)

3ページの「委員会で検討・協議を行った内容は次のとおりである」に「意見の抜粋」と入れれば、個々の意見を尊重してまとめた形になるので良いかなと思った。

(梅牧委員長)

入れたいと思う。今まで出た多様な意見を尊重してまとめて書いたという形にしたい。私と副委員長で答申書をまとめて教育委員会に渡したいと思っている。答申を渡す日については、全委員へ知らせるので見届けたい方がいたら参加してもらおう形で、案内を出す予定。

## 5 その他

(中山委員)

令和8年度の入学人数は何人か。

(井口課長)

池田小学校 18 人、会染小学校 29 人、高瀬中学校 73 人の予定である。

(梅牧委員長)

委員長を引き受けたときにどうなるのかなということで、本当に方向のない船に乗ったような気持ちで色々と検討してきたが、色々と意見が出たおかげで、どうにかまとめることが出来た。内容が100点満点というのは難しいが、全委員から出た意見を反映してかつ、この委員会が存在した意義を残しながらまとめる答申になったのかなと疑問を持ちながらも、全委員のおかげでここまでたどり着いたと感じている。

(宮本副委員長)

第二次教育大綱の実現について、今回のあり方検討委員会で補強するような形でまとまったと感じた。全委員の協力によって今の答申書の形でまとめることが出来た。

(山崎教育長)

一昨年9月25日からこの検討委員会を重ねておよそ1年半討議をしてきた。会議の中でずっと言われてたことになるが、ただ単に学校の人数をどうするとかっていうことではなくて、どういう学校を作ってほしいのか、どういう子どもたちを育てて欲しいんだとそういうことを前提にして、常に話をしてきたことに本当にありがたかったと思っている。これでまた正副委員長さんにもう少し苦勞してもらい、最終的な答申書にしたところで教育委員会へ提出されるが、全委員の気持ちをしっかり汲みながら、考えていきたいと思っている。

6 連絡 答申 2月下旬

7 閉会